

平成24年度私立学校初任者研修 小学校（東日本地区）研修会実施報告

本年度の私立学校初任者研修小学校（東日本地区）研修会が、7月31日（火）から8月2日（木）の2泊3日の日程で、東京ベイ幕張ホール（アパホテル）で開催され、53名の小学校教員が受講した。

まず初めに、立教小学校教頭、田代正行氏の講演「すてきな先生」では、担任教師がほぼ全教科を指導し、終日クラスの児童と顔を合わせる小学生では、教師の人間的な魅力はとても大切な要素であると魅力的な教師像を熱く語った。また、元成蹊小学校校長、岡崎忠彦氏による実習と懇談「子どもの声が聞こえますか」では、小学校の現場において、様々な事例を挙げて、教育の難しさや課題について、より実践的なお話をいただいた。



研修2日目の午前中は、元全日空整備本部教育訓練部チーフインストラクターである中村勝充氏を迎えて、「企業研修から学ぶ」をテーマに、講義と実習を行った。他者とのコミュニケーションをどのようにするか、実際にロールプレイングをやることで、相手の気持ちを理解することの重要性を学んだ。

午後からは、動きやすい服装に着替えてのリクレーション講習が行われた。講師は、健康リクレーション研究所主宰、山田征夫氏で、巧みな話術で受講者を惹き付けた。受講者からは「学校へ戻ったら、特別活動に是非とも導入したい」という声も聞かれた。

夕食後の午後6時半から2時間にわたって自由討議が行われ、教室での日々の悩みや問題点などを議論しあった。

最終3日目は、武蔵野東小学校教頭、市川智氏による講演「多様な子どもにどうかかわるか」では、指導の難しい子どもへの対応を話していただいた。

この後、全体会でのまとめ及び閉会式で修了証の授与が行われ、3日間の研修を終了した。

